

2024年度に当園が受審した福祉サービス第三者評価の結果についてお知らせいたします。

※以下は、福祉サービス第三者評価機関である株式会社学研データサービスが作成した評価結果の概要です。なお、評価結果の詳細につきましては、「とうきょう福祉ナビゲーションのホームページ（<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>）からご覧いただけます。

福祉サービス第三者評価結果概要

特に優れている点

園長を中心とした経営層のリーダーシップが園の目指すべき方向性を明確にすると共に、数々の革新的な取り組みにつながっています

様々な革新的な取り組みを通して、園長を中心とした経営層の指導力を見ることが出来ます。ことにリスクマネジメントにおける先進的な取り組みは特筆できるものがあります。カラーで感染症に対する「警戒レベル」の見える化を実現したのもそのひとつ。「安全部」を設立し、職員の安全意識も大きく向上させました。防災に対する取り組みが各方面から評価されているのはその表れです。園長は「最終的な責任」は自らが負うことを明言しています。保育園も選ばれる時代。目標に向かって職員が一体となって進むリーダーシップがこれから求められます。

長い時間を園で過ごす子どものためにゆったりと過ごせるように、細やかな心配りをしながら保育環境を整えています

全部屋にコーナー保育を取り入れています。静かに過ごせる「静」の場所と遊びこめる「動」の場所を分けて配置しています。「午前寝」が必要な子どものために部屋の一角にゆっくり眠れるコーナーを用意し、ソファも配置しました。0、1歳児の保育室ではクラシックオルゴールの音色を流し、睡眠時には全ての部屋でアロマオイルを焚いています。原色を避けるなど、職員の服装にも子どもが穏やかに過ごすための配慮をしています。延長保育では担当職員を固定にすることで子どもたちの安心につながっており、飽きないように玩具も毎月替えています。

就労状況などに応じて柔軟に対応すると共に、保護者と職員との交流を図るなど、安心して子育てが出来るように支援を行っています

保護者が就労と両立しながら安心して子育てが出来るように配慮を行っています。早朝、延長保育と共に土曜日利用にも対応。保護者の体調不良などに配慮し、仕事が休みの場合でも受け入れており、急な延長でも補食などを提供しています。「パップス」と呼ぶ父親の会を結成しており、ボランティアで行事の準備や園内、園庭のメンテナンスなどを行う中で、保護者同士の交流が図られています。玄関前に設けられた「ちょっとホットコーナー」も保護者同士の交流の場となっています。職員と保護者がお互いに「顔の見える」関係づくりに取り組んでいます。

さらなる取り組みが期待される点

様々な機会やツールを通して保護者の声を聞く仕組みは整っていますが、更に保護者の声を園運営に生かす仕組みが期待されます

保護者会や面談、連絡帳、アプリなど、様々な機会、ツールを通して保護者の声を聞き取る仕組みは整っています。しかし、その多くは、急な休みや登園時間の遅れなどの「連絡」が主な目的になってはいないでしょうか。朝夕のあわただしい時間ではお互いに話を交わす時間は難しく、あったとしても極めて短い時間に限られるのが現状です。正確に、深く保護者の声を受けとめ、保育の質の向上につなげる仕組みはないでしょうか。SNSの活用で保護者の声をより多く、正確に保育に生かすことを期待します。

行事の見直しで保護者が来園する機会は増えていますが、子どもの様子をより深く知るために、保育参加への関心を促す取り組みを期待します

コロナ禍の経験を踏まえ、行事の見直しを行うことによって来園する保護者が増えている印象はありますが、子どもの生活をより深く知るきっかけとなる「保育参加」への参加者が増えていません。保育参観は子どもの姿を遠くからしか見ることが出来ません。運動会しかりです。平日、保育室に入っても時間は子どもたちの成長や考えていることを知る格好の機会です。日程や時間、当日のスケジュールなどを見直すことで、母親はもとより父親が参加しやすい環境を工夫したいものです。保護者への呼びかけ方法も含めて再検討されることを期待します。

未就園児を対象とした子育て支援事業に取り組んでいますが、開催日を工夫するなど新たな活動に向けた更なる取り組みが望まれます

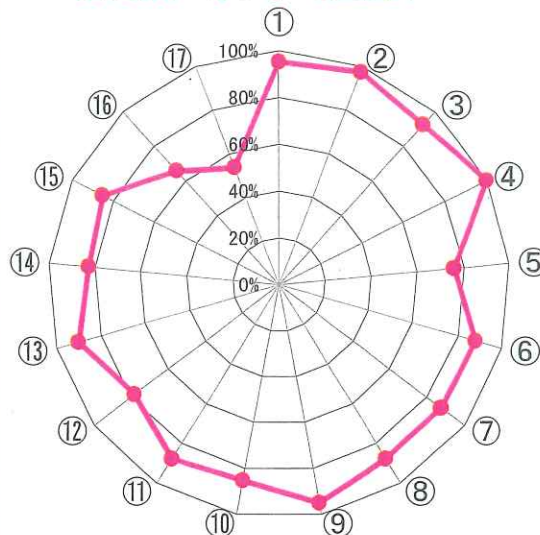
「気軽に立ち寄れる園」をスローガンに、授乳スペースや遊び場の提供、育児相談など、未就園児を主な対象とした子育て支援事業を行っています。「にこらん」を呼ぶ出前保育も系列園と連携して実施しています。しかし、コロナ禍以来、子育て支援事業の数は減少しており、未だ回復していないのが現状です。地域は都心への通勤者が多い上に、新しく住宅を購入した家族が多いことから、子育て支援事業に対する期待は大きいと推測されます。季節や日程、時間など、子育て家族のニーズを把握しながら、時代に即した新たな子育て支援事業を期待します。

利用者アンケート結果概要

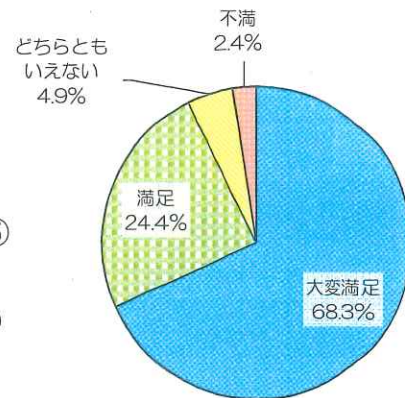
実施期間：2024年11月11日(月)～2024年11月25日(月) 回収率：49.4%

※11月29日到着分まで集計

質問別「はい」の回答率



園に対する総合満足度の結果



〈質問項目〉

- ① 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか
- ② 保育所での活動は、子どもが興味や関心をもって行えるようになっているか
- ③ 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか
- ④ 園生活で身近な自然や社会と十分関わっているか
- ⑤ 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか
- ⑥ 安全対策が十分取られていると思うか
- ⑦ 行事日程の、保護者の状況に対する配慮は十分か
- ⑧ 子どもの保育について、家庭と園に信頼関係があるか
- ⑨ 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか
- ⑩ 職員の接遇・態度は適切か
- ⑪ 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか
- ⑫ 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか
- ⑬ 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか
- ⑭ 子どもと保護者のプライバシーは守られているか
- ⑮ 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか
- ⑯ 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか
- ⑰ 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか

利用者アンケートの結果や福祉サービス第三者評価の結果の詳細内容は、「とうきょう福祉ナビゲーション」のホームページで公表します※。（福祉サービス第三者評価のページからご覧いただけます）

※結果が公表されるまでに時間がかかる場合があります



「とうきょう福祉ナビゲーション」URL
<http://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/>
 パソコンまたはスマートフォンでご覧ください

園からのコメント

お忙しい中 アンケートにご協力頂き ありがとうございます。
 より良い園作りを今後も行って参ります。

【福祉サービス第三者評価 評価機関】

株式会社学研データサービス R&C評価事業部
 （認証評価機関番号 機構05-149）

